

QTU-HYOGO
兵庫高等学校教職員組合
日本教職員組合(日教組)

兵高教新聞

裏面
◇2025年度
公立学校生徒募集計画公表
他

神戸市中央区中山手通 4-10-5 神戸市教育会館内 TEL078-261-0829 FAX078-261-1094 E-mail:hyokokyo@pearl.ocn.ne.jp

発行人：西村恭介 編集：兵高教書記局

兵高教第35次教育研究集会開催

=「民主社会を支える教育」～平和のためにできること～=

10月19日(土)、神戸市教育会館において、兵高教第35次教育研究集会を開催しました。県下各地から多くの参加者を集め、午前中の分科会、午後の全体会を通じて、深く学び、活発な討議・意見交流が行われました。

冒頭、西村恭介執行委員長はあいさつの中で、日本被団協のノーベル平和賞受賞に触れ、世界各地で紛争・軍事衝突が激化し、かつてないほど核兵器使用の危機が迫っている現状に対し、被爆者とその思いを語り継ぐ若者たちの果たす役割が極めて大きいと述べ、高校生平和大使の活動支援をあらためて呼びかけました。また、衆議院議員総選挙と続く兵庫県知事選挙にも言及し、私たち一人ひとりの政治参加の重要性を訴えらるとともに、教職員として投票権を持たない仲間や子どもたちの声を代弁する責任があるとし、積極的な投票行動を呼びかけました。最後に、教育研究活動は教職員組合の運動の柱であり、仲間とともに学びを深め、明日からの実践に活かしていこうと結びました。



主催者あいさつ

分科会

◆第1分科会「今日の教育課題」

①「高等特別支援学校の校則の見直しについて」

船脇吉広さん(高等特別支援分会)

生徒指導提要改訂を受けて、高等特別支援学校では昨年より28年前に作られた校則の見直しに着手した。生徒・保護者・職員の三者の合意を重視し、三者委員会でも更案を作成、一部を変更した。見直しに当たって、多数決ではなく時間がかかっても合意できる点を見出す話し合いを続けることを基本方針とした。これらの昨年度からのとりくみを報告し、参加者で協議し学習を深めた。



第1分科会

②「特別支援学校で出会った外国籍の生徒とともに歩んで」県立高校へ進学するまでの道のり」

中村慶子さん(いなみ野特別支援分会)

外国にルーツを持つ特別支援学校中学部の生徒が進路について考える中で「高校に行きたい」と申し出てきた。そこから高校進学に至るまでの経緯を紹介し、課題を共有するとともに、教職員が保護者や地域の支援者とともにどのように子どもたちの支援ができるか、について協議した。

※総括討論では、高等特別支援学校の「異性との関わり方」に関するルールから学校における性教育の問題についても意見が交わされました。

◆第2分科会「授業づくりと生徒支援」

①「多様な生徒と関わって生徒の命に関することはシビアになる養護教諭をめざして」

北川阿弓さん(神崎工業分会)

初任1年目の養護教諭として夜間定時制高校の生徒に関わる中で、様々な課題を抱えた生徒が多いことを実感した。このような生徒たちに養護教諭として実践していることを具体的に報告し、意見交換を行った。

②「生徒支援の事例」

中村一輝さん(県西宮分会)

前任校(初任)で、成績不振や問題行動で学校生活になじめなかった生徒に対して、HR担任として関わり支援した。教員としての経験が浅く、支援や指導は、手当たり次第という状況であった。卒業後の生徒たちの様子にも触れつつとりくみを報告し、支援の効果や反省点について共に考えた。



第2分科会

※総括討論では、参加した兵高教OBの方より「2本のレポートは兵高教のよい伝統が受け継がれていた。しんどいところを引き受け、そのうえで自分が潰れないよう仲間をつくること、工夫することが大切」とのアドバイスをいただきました。今回の第2分科会のレポートは、これも青年層組合員の実践報告であり、阪本教文部長は「教育研究活動は学ぶ場として大切であり、普段の実践を発表しともに考えることに意義がある」とし、引き続き若い世代の積極的参加を呼びかけました。

全体会

◆高校生・大学生シンポジウム

「これからの平和教育」

シンポジスト

松岡祐結子さん(寛政大学1年生・宝塚西宮卒)

松尾仁菜さん(神戸竜谷高校2年生)

和田響さん(神戸竜谷高校2年生)

原野蓉子さん(神戸女学院高校1年生)

シンポジウムに先立ち、ノルウェー派遣(オスロ・ノーベル平和賞委員会等訪問)およびジュネーブ派遣(国連欧州本部訪問・国連軍縮会議傍聴)についての報告を行いました。

その後、一人ずつ自己紹介を兼ねて高校生平和大使への応募動機、核兵器廃絶や平和活動に関心を持ったきっかけ等について話してもらいました。修学旅行で広島平和記念資料館・長崎原爆資料館・沖縄のガマなどを訪れて、映像も含めた様々な資料や証言に触れたことがきっかけとなった、という声が多く、体験をともなう平和学習の重要性を再認識しました。その他、日本被団協のノーベル平和賞受賞、紛争が絶えない今日の国際情勢、核兵器禁止条約の意義および日本が批准していないこと、これまで平和学

(裏面に続く)



シンポジストのみなさん

兵庫高等学校教職員組合(兵高教)は、《JTU日教組》加盟の組合で、1989年に設立しました。
※「兵庫高教組」「兵高教組」「高教組」(兵庫県高等学校教職員組合)とは、関係ありません。

習としてのどのように学んできたか、高校生平和大使の活動を通じて、印象深かったことや学んだこと、などについてそれぞれの考えや意見を出し合ってもらいました。

被団協のノーベル平和賞受賞を受けて、次世代に語り継ぐ重要な役割であることをあらためて自覚し、責任感をもって活動にとりくんでいくとともに、もつと多くの人に高校生平和大使の活動を知ってもらいたい、という思いや、また、唯一の被爆国である日本は核兵器禁止条約を批准するべきであり、今回の平和賞受賞をきっかけに批准に向かってほしい、という意見もありました。

活動をしていく中で、知識不足を痛感させられることが多々あり、署名活動、SNS等での情報発信の強化、同世代との交流に加え、学び続けていくことが重要だ、とも語ってくれました。

学校での平和学習については、質・量ともに不十分だという意見が多く、「学校の先生たちがもつと平和について勉強してほしい。先生たちが行動してほしい」「学校でもつと平和教育を行ってほしい」という声もありました。

歴史的事実から目をそらすことなく、大人も子どもも当事者意識を持ち、共に学び続け、核兵器のない平和な世界にむけて力を合わせてとりくんでいく決意を確認し、シンポジウムを終えました。



諸物価高騰が収まらず、実質賃金の低下が長期間続く中、所得の二極化はさらに進行しています。兵高教はこれまで、「すべての希望する人に後期中等教育を保障する」ため、全日制高校、定時制・多部制高校の開門率を引き上げ、多部制・多部制58人増、通信制17人減」となっています。

今年度末の中学校卒業生は1,000人を超える大幅な減少が見込まれ、また2025年は「県立高等学校教育改革第三次実施計画」に基づく「発展的統合」の初年度でもあり、全日制課程については19学級減（うち11学級が発展的統合による減）となっています。一方で進学希望者が微増している定時制・多部制については、学級数の増減はなし、通信制課程の募集定員も増減なしとしました。今後は、広域通信制課程等への進学希望者の増加傾向が続いていることも注視しつつ、多様な生徒の学びに対応できるインクルーシブな学校づくりをさらに進めていくと取り組む必要があります。

私たちは、厳しい経済状況・生活環境の下におかれながら高校進学を希望する人たちの願いを受け止め、今後も、「すべての希望する人に後期中等教育を保障する」ためのとどろくみを一層強化していきます。

(詳細は、10月21日付「速報」No.3を参照)

2025年度

公立学校生徒募集計画発表

■全日制19学級減、定時制・多部制は増減なし■

兵庫県教育委員会は、10月21日、2025年度の公立高等学校生徒募集計画を公表しました。募集計画の策定にあたって、兵高教は兵教組と連携をとりながら、高校教育改革の進捗状況や各学区の抱える課題解決を基本に据え、全県的・中長期的な視野に立つてとどろくみをすすめてきました。

2024年度末の県内の国・公立中学校卒業見込者数は2023年度末に比べ1,096人減少し、県内公立高校進学希望者(9月1日現在)は1,000人減(全日制1,041人減、定時制・多部制58人増、通信制17人減)となっています。

今年度末の中学校卒業生は1,000人を超える大幅な減少が見込まれ、また2025年は「県立高等学校教育改革第三次実施計画」に基づく「発展的統合」の初年度でもあり、全日制課程については19学級減(うち11学級が発展的統合による減)となっています。一方で進学希望者が微増している定時制・多部制については、学級数の増減はなし、通信制課程の募集定員も増減なしとしました。今後は、広域通信制課程等への進学希望者の増加傾向が続いていることも注視しつつ、多様な生徒の学びに対応できるインクルーシブな学校づくりをさらに進めていくと取り組む必要があります。

私たちは、厳しい経済状況・生活環境の下におかれながら高校進学を希望する人たちの願いを受け止め、今後も、「すべての希望する人に後期中等教育を保障する」ためのとどろくみを一層強化していきます。

(詳細は、10月21日付「速報」No.3を参照)

兵高教女性部アンケート

子どもたちが元気に学び、そして私たち教職員がいそいそと働ける学校・職場にするために、みなさんの思いや願いを聞かせてください。いただいたご意見は、対県専門部交渉で職場の声として要求したいと思っております。

子育てや介護、ジェンダーに関わる課題、ハラスメント等男女を問わず広く意見を集めたいと思っていますので、男性の方の回答もぜひお願いします。未組合員の方にもご協力を呼びかけていただけると幸いです。

以下のURL または右の二次元コードを読み取り、回答してください。

よろしく願いいたします。

<https://x.gd/Pkq4d>

※一次集約：11月12日(火)



11月17日 届け、一票。

兵庫県知事選挙

兵庫県議会議員補欠選挙(尼崎市・明石市)

【投票時間】午前7時～午後8時
(一部の地域を除く)

私たちの知事選

投票日当日に仕事、買い物などの予定がある方は、

期日前投票をすることができます。

期日前投票を積極的にご利用ください。

投票期間 **11月1日(金)～11月16日(土)**

県議会議員補欠選挙は、11月9日(土)～11月16日(土)

投票時間 **午前8時30分～午後8時** (一部の投票所を除く)



兵庫県マスコットはばタン

期日前投票所一覧はこちら↓
https://senkyo.pref.hyogo.lg.jp/ev_list/



私たちの仕事や暮らし、子どもたちの未来に直結する大切な選挙です。選挙権を持たないなかまや子どもたちの声も代弁し、県政を正常化し、より良いひょうごをつくるため、必ず投票に行きましょう！

「兵庫の教育をよくする県民署名」 にご協力ください！

本部集約：11月16日(土)

※署名用紙は各分会に郵送済です。ご家族、ご友人、職場のなかまにも協力を呼びかけてください。集約日までに書記局まで郵送、持参をお願いします。